

日本高校教育学会年報

第24号

生徒減少期への対応と高等学校の特色化

目 次

巻頭言	戸塚忠治 (2)
特集論文	
人口減少社会を見据えた県立高校の「魅力づくり」に関する研究 —地域との連携による高校改革に着目して—	小粥俊輔 (4)
研究論文	
大学の都市部集中と大学進学機会 —1990年から2015年の自県/県外進学率・収容率の変化に着目して—	津多成輔 (16)
私立高校による給付型育英奨学事業の実施メカニズム —生徒減少期における経営課題の観点から—	濱沖敢太郎 (26)
実践論文	
SSH 国際系課題研究授業における論文作成指導	浜 泰 一 (38)
「見方・考え方」を働かせた深い学びのデザイン —経済学習としての「貿易ゲーム」を事例に—	山崎辰也 (48)
研究ノート	
学校における安全配慮義務に関する一考察 —中・高校生がいじめ等に関する諸判例から—	風 間 効 (60)
教員とスクールカウンセラーの連携にみる生徒指導における台湾的特質 —台湾の高等学校教員への質問紙調査から—	川瀬瑠美 (70)
大学教員による SSH 指定校への出前授業の教育効果とその課題 —高校生に Fabricius-Bjerre の定理を発見させる授業の実践を事例として—	鈴木 翔・小林真人 (78)
書評	安田元気 (90)

2017年7月

日本高校教育学会編

JSSE

日本高校教育学会年報

JSEISE

第24号

(2017年7月)

生徒減少期への対応と高等学校の特色化

各カテゴリー表紙の挿絵：コメニウス『世界図絵』1746年
筑波大学附属図書館所蔵貴重書コレクション電子化資料
筑波大学附属図書館許諾

年報編集委員

年報編集委員	山崎保寿（静岡大学：委員長）
	岡部善平（小樽商科大学）
	川口有美子（公立鳥取環境大学）
	新茂則（中村学園大学）
	椿達（北海道情報大学）
	根本雄一（茨城県立石下紫峰高等学校）
	浜田博文（筑波大学）
	平井貴美代（山梨大学）
	水本徳明（同志社女子大学）

—編集後記—

年報第24号の巻頭言は、戸塚忠治氏に寄稿して頂いた。巻頭言では、学び続ける教員像と資質向上について、教員養成に携わる著者の立場から今後への期待が述べられている。今号の特集テーマは「生徒減少期への対応と高等学校の特色化」である。特集論文は、小粥俊輔氏による「人口減少社会を見据えた県立高校の『魅力づくり』に関する研究—地域との連携による高校改革に着目して—」である。現在、高等学校は生徒減少期に入っており、各都道府県では公立高等学校の再編整備が急務の課題となっている。そうした今日的な課題に対して、同論文では、地域連携により高等学校の特色化を進める方向に将来性を見出している。

次に、論文審査経緯については、例年と同様に、投稿論文の審査は、各査読委員による審査結果をもとに総合判定を決め、その判定結果を投稿者へ連絡した。掲載される論文に対しては、修正状況を確認検討したうえで最終判定を出すという方法で実施した。本学会に限らず、投稿論文に対して、規定文字数の厳守をはじめ、投稿規定を遵守することが従来以上に強く求められている。今回の審査に当たっては、そうした最近の審査傾向も踏まえて、投稿者には論文の書式面も含めて投稿規定に準拠するよう求めた。今号の論文投稿状況は、研究論文のカテゴリーに10本、実践論文のカテゴリーに1本の投稿があった。編集委員会を中心に各投稿論文を慎重に審査した結果、最終的に、2本を研究論文、2本を実践論文、3本を研究ノートとして掲載することになった。今回も本学会の特性で、研究者と実践者という性格の異なる投稿者がある中で各論文の内容を一律に比較することは極めて困難であった。査読者の意見を尊重しつつ本学会の趣旨を考慮して最終的な結論を得た。論文の内容と書式等に関しては、特集論文を含めて本号に掲載したすべての論文等に対してチェックを行った。なお、繰り返しになるが、本学会では、年報巻末に示されている論文書式の厳守を投稿の基礎条件としている。論文書式の厳守について、会員は投稿の際に十分ご留意頂きたい。

なお、日本高校教育学会年報は、第13号から、二井豪氏のご尽力で学事出版から出版して頂いている。今号は、出版社からの発行という体裁をとった12号目になる。体裁の問題とはいえ、この方法により年報の形式が整い投稿諸氏の研究成果に一層の光が当たるようになれば編集委員会として誠に幸いである。また、第17号からは、筑波大学附属図書館の許可（平成22年5月20日付「図書館資料使用許可書」筑大図サ相第10-04号）を得て、中表紙にコメニウス『世界図絵』（1746年）の挿絵を使用している。

最後になりましたが、ご多忙の中、巻頭言、特集論文、研究論文、実践論文、研究ノート、書評、事務局通信をご執筆・投稿して頂いた方々、実務面で年報の編集・刊行にご尽力頂いた方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。
(年報編集委員長 山崎保寿)

日本高校教育学会年報 第24号

2017年7月10日発行

編集 日本高校教育学会

発行 学事出版株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-3

TEL 03-3255-5471

<http://www.gakuji.co.jp>

BULLETIN OF THE JAPAN SOCIETY FOR SENIOR HIGH SCHOOL EDUCATION

No. 24

CONTENTS

Foreword	Chyuji TOTSUKA (2)
Special Thesis	
A study about “creating an attraction” of prefectural high school anticipated to society with depopulation: Focus on innovation of high school by cooperating with the local community	Shunsuke OGAI (4)
Theses	
Influence of University Concentrating in Urban Areas Affecting Opportunity for University Education: With a Focus on Changes about the Rate of Going to University between 1990 and 2015	Seisuke TSUDA (16)
The Structure of the System of Scholarships by Private High Schools: With a Focus on Managerial Problems of Schools in an Era of Depopulation	Kantaro HAMAOKI (26)
Practical Theses	
Thesis Conducting in the SSH Research Program – International Field	Yasukazu HAMA (38)
Deep Learning Design That Worked “View and Thinking”: A Case of “Trade Game” as Economic Learning	Tatsuya YAMAZAKI (48)
Research Notes	
A consideration to ensure the safety at school: Bullying precedents in junior and senior high schools	Isao KAZAMA (60)
Characteristics of student guidance through cooperation between teachers and school counselors in Taiwan: From questionnaire survey to senior high school teachers	Rumi KAWASE (70)
Educational Effects and Problems of a Special Class to the SSH Designated School by a University Teacher: As a Case Study of a Class to Make High School Students Discover the Theorem of Fabricius-Bjerre	Sho SUZUKI, Mahito KOBAYASHI (78)
Book Review	Genki YASUDA (90)

Jul. 2017

Edited by

The Japan Society for Senior High School Education